

プランジャー測定対象エレベーターの技術情報

対象巻上機型式：SKE-1000A(N),1500A

対象巻上機のブレーキ構造について	1 項 1-1、1-2
プランジャーストローク測定方法について	2 項 2-1
要改善ブレーキの対策について	3 項 3-1、3-2、3-3、3-4
本件についての外部からの問合せ窓口、連絡先について	4 項



2021年3月3日

プランジャー測定対象エレベーターの技術情報

国土交通省の定める「安全確保のために改善措置が必要である構造ブレーキ(要改善ブレーキ)」に該当するブレーキの判別方法、検査方法、及び要改善ブレーキの改善措置について以下に示します。

要改善ブレーキは、改善措置が完了するまで3ヶ月に1回プランジャーストロークを測定し、国土交通省指定の【様式2】に記入の上、建築基準法第12条第3項に基づく定期報告と併せて特定行政庁に報告して下さい。

また、改善措置が完了した場合には、特定行政庁および(株)三栄製作所に報告して下さい。

1. 対象巻上機手動開放レバーについて

スプリングの種類	手動開放レバー	判定
シングル	有り	脆弱該当
ダブル	有り	脆弱該当

1-1. ブレーキ構造図

図 1: シングルスプリングブレーキ構造図手動開放レバー有り

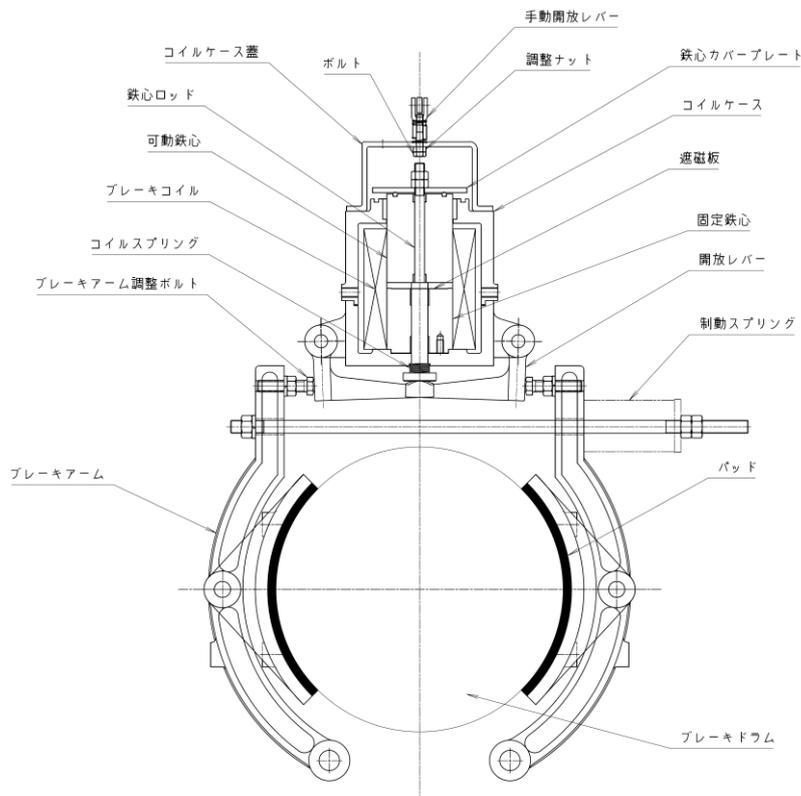
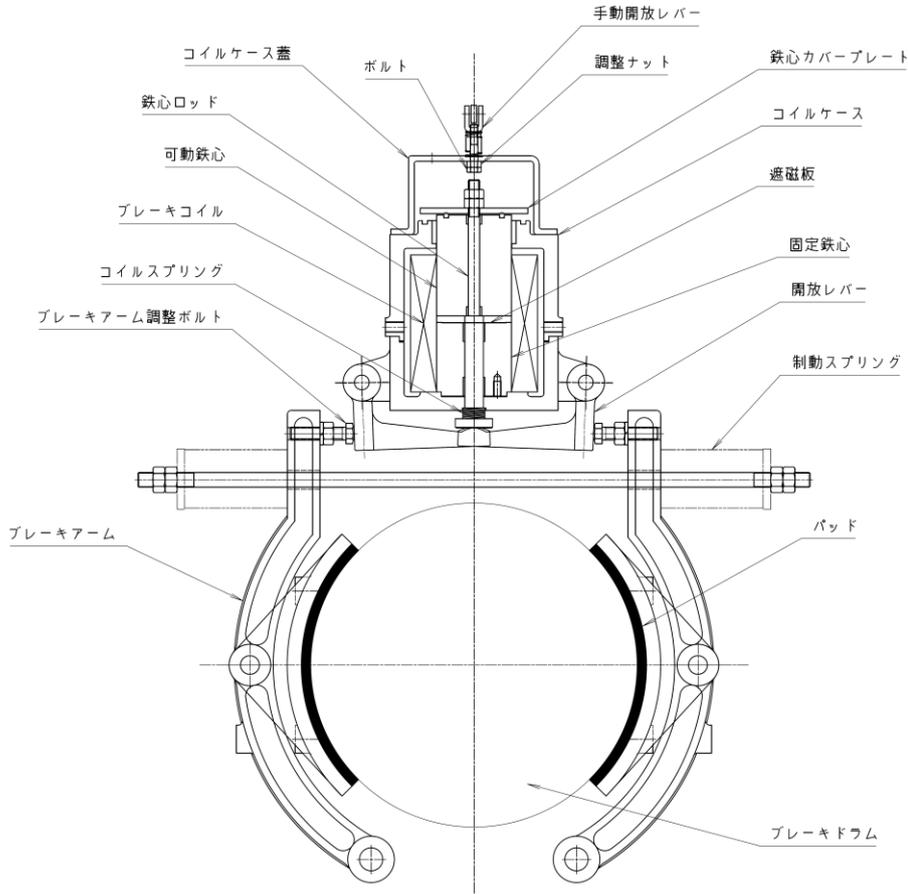


図 2: ダブルスプリングブレーキ構造図手動開放レバーあり



2. プランジヤーストローク測定方法

2-1 項プランジヤーストローク測定手順を参照してプランジヤーストローク寸法を測定してください。

表 1 管理値外の場合は、直ちに管理値内となるように調整を実施してください。

(調整方法は、定期点検マニュアル(管理番号: 13-401-008-07)を参照ください)

表 1: 鉄心ロッドプランジヤーストローク管理値 (単位:mm)

	初期ストローク(A-B)	要是正ストローク(A-B)
SKE-1000A (N)	3~5	6
SKE-1500A	3~5	6

2-1. プランジヤーストローク測定手順

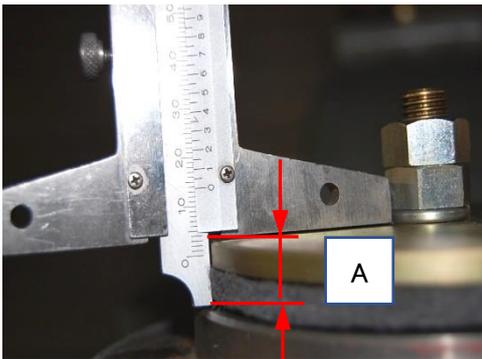
- ① カバーを取外す。(写真はソレノイド 手動開放レバーあり)



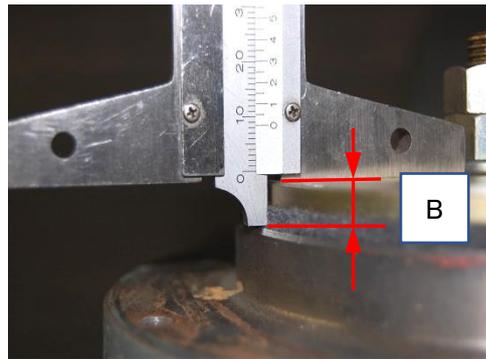
- ② プランジヤーストロークを測定して下さい。

ノギスの先端部は同じ箇所ですべて測定して、A 寸法値から B 寸法値の差分がプランジヤーストローク値となります。

ブレーキ制動時(電源 OFF) (A 寸法) - ブレーキ釈放時(電源 ON) (B 寸法) = プランジヤーストローク寸法



ブレーキ制動時(電源 OFF)



ブレーキ釈放時(電源 ON)

3. 要改善ブレーキの改善措置の方法

3-1. 本改善措置は、既存コイルスプリングを取り外すことで、プランジャー上部の先端がコイルケース蓋と干渉するまでの隙間を確保でき、要改善ブレーキを改善出来ます。

図 3: シングルスプリングブレーキ構造図手動開放レバー有り (赤丸部: コイルスプリング取り外し)

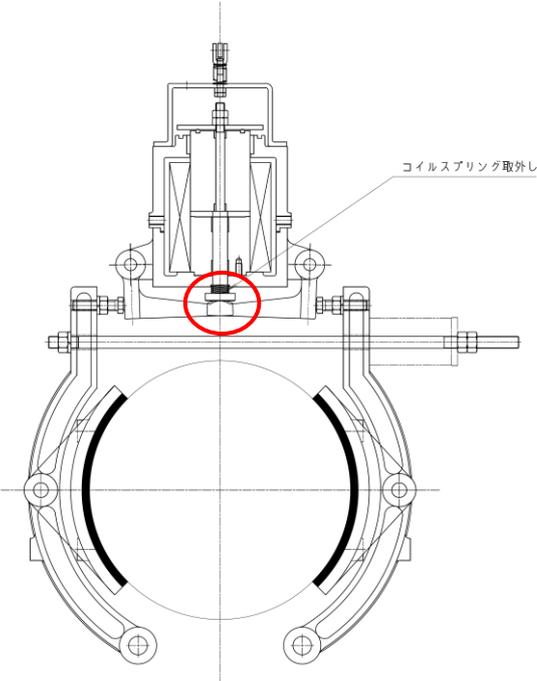
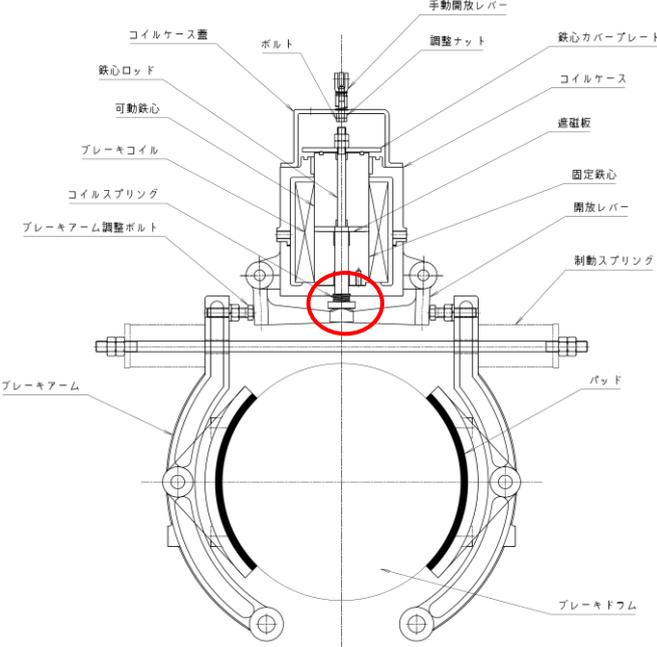


図 4: ダブルスプリングブレーキ構造図手動開放レバー有り (赤丸部: コイルスプリング取り外し)



巻上機型式：SKE-1000A (N) ,1500A

3-2. 改善措置作業手順

事前準備として、かごを最上階に移動して、電源を OFF にします。

No.1:3-1 項の図 3、図 4 のコイルケース下部のコイルスプリングをニッパ等で切断して下さい。

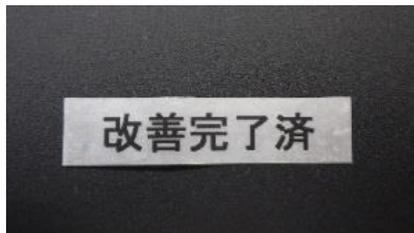
(取外したコイルスプリングは破棄して下さい)

3-3. 改善完了済のシール貼り付けについて

作業完了後に、改善措置完了を示す「改善完了済」シールをブレーキコイルのコイルケース蓋上部に貼り付けて下さい。

貼付場所が汚れている場合、ウエスで清掃をして接着面の清掃を行ってください。

「改善完了済」シールを示します。(支給品:12mm幅 銀地に黒文字)



4. 問合せ窓口、連絡先

本件についての問合せにつきましては、以下にご連絡をお願い致します。

株式会社三栄製作所 問合せ窓口

担当:品質管理

TEL:0296-77-5141

E-Mail: maintenance@sanei-ss.co.jp